

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・地物の特産品をメニューに加えた効果が出てきたのか、特にこの春から夏にかけて、県外からの客が確実に増加している。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	来客数の動き	・気候が不安定であったこともあるかもしれないが、来客数が非常に増えている。インターネット喫茶、ネットゲームに対する客の食いつきが非常に良く、来客数がかなり増えている。
	やや良くなっている	スーパー（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べ、売上は7.5%、来客数が6.8%伸びている。客単価及び一人当たりの買上点数は前年と全く同じ状態である。しかし、部門的には、青果、精肉、鮮魚など生鮮部門の伸びがあまり良くない。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・8月に入り、気温の上昇から盛夏商品の売行きが好調で、前年同月の販売数量を20日間で売り切る勢いとなっている。特に、飲料、アイスなど、気温に一番左右される商品群が売上をけん引している。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・梅雨明け後、顧客クラスター別の戦略を一気に展開し、盛夏商材の動きが活発化した。お盆もクラスター別メニュー起点の展開が功を奏し、食品の買上点数、単価共に上向いている。来客数は前年同週比で108%である。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・暑いこともあり、不景気という割には今までと比べて夏休み中の学生に購買意欲、動きがある。しばらくは良い方向に向かっていく。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・夏前の稼働に比べて宿泊は緩やかに伸びている。ただし、客の動向をみると無駄な事はしない、動かないという傾向がみられる。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・梅雨明けと同時に暑くなり、客の旅行熱が一気に上がり、8月前半はとても好調な売行きを記録した。お盆過ぎになるとその傾向は下がり気味になったが、全体的には個人旅行を中心に国内、海外共に堅調で、やや良くなっている。
	変わらない	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・残暑が続く、紳士服、特にスーツ関連は厳しい状況が続いている。晩夏物を含め、秋色夏素材の展開を早めにし、月ごとに細かく指示をしていることが後半の勢いにつながっている。
		百貨店（総務担当）	それ以外	・新商品の効果が、今月は快気祝いと法人のギフトが多くなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・天候不順で、婦人服を中心に夏物衣料品の売上不振が続いている。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・当店のテナントの売上額は前年比111%となっているが、好調な店舗は夏のクリアランス、処分品の打ち出しをしているところであるため、一概に良いという判断ではない。
コンビニ（経営者）		来客数の動き	・長梅雨のためか、来客数が前年より10%も減少している。	
乗用車販売店（従業員）		来客数の動き	・暑い日が続いていることもあるが、来客数が前年比70%に落ち込んでいる。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・自動車業界は、全体の数量減少と需要が大型から小型へ移っていることから、収益が悪化してきている。	
その他専門店 [携帯電話]（営業担当）		販売量の動き	・夏のボーナス商戦の流れから、上旬の販売は順調であったが、後半、特にお盆明け以降の販売は大幅に落ち込んでいる。	
スナック（経営者）		競争相手の様子	・当店が加盟している飲食業組合の加盟店の話では、お盆過ぎまでの動きはまあまあであったが、お盆過ぎは激減したとのことである。	
観光型ホテル（スタッフ）		単価の動き	・トップシーズンという事もあり、通常の月よりは当然売上、来客数とも多いが、例年並みの来客数がある割に売上が上がってきていない。ここ数年、単価と付帯利用売上が年々落ちてきているが、今月は特にその影響を重く感じた月となっている。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏の家族旅行の受注が前年に比べ20%減少している。ただし、長距離の旅行は若干増えている。		

	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・農家が多い地域のため、長雨災害、天候不順で客の足が重くなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・昼間のタクシー需要は相変わらず好調であるが、夜間需要が低迷しており、その結果、横ばいに推移している。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・前月3%くらい増えていると回答したが、今月に入り、逆にその3%分減少している。先々月、その前と比べても横ばいである。
	美容室（経営者）	それ以外	・残暑が厳しくなっているため、美容院の入店客数は徐々に増加している。また、設備投資の相談件数も徐々に出てきたので、少し良くなりつつある。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・2～3か月前と比べ来客数は変わらないが、小さい物件が多いため単価は安い。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・金利変動により、客の動きが出始めたが、実際に売れる物件が不足している。まだまだ地価が安いので、換金する方が少なく、供給が追いつかない状態である。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・数か月間に渡り販売量は横ばいの状態が続いており、好転の兆しはうかがえない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・以前と異なり、来店しても、よほどのことがないと購入しないので、販売量が激減している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・8月に入ってからの酷暑続きでお盆の後ほどの店も売上が激減し、落ち込んでいる。特に、衣料品店は夏物も秋物も売れないということで閉口している。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・全般に購買意欲がないのか、慎重なのか、修理不能以外の家電製品購入がみられない。家計の中で出費構成が変化しているようである。
	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・いつもならお盆明けに値段を安くしなくても売れる初秋物の動きがあったが、今年は夏物の処分品しか売れていないため、客単価が低くなっている。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・梅雨が長引き夏到来が遅くなった影響で、夏物は苦戦、バーゲンもかなり低迷した。来客数も少ない。その上、残暑が厳しく、現在秋物の立ち上がりにも相当影響している。まだ下見に来る客も少ない状況である。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・前月同様ガソリンの値上げが販売に影響している。大型車への乗り換えは控えられ、軽自動車等へ乗り換えるユーザーが多く、それに伴い利益、売上高の確保が難しくなっている。
	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・販売台数は伸びているが、値下げを要求したり、他店を意識していたり、不景気だという客が多い。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・お盆中の来客数はまずまずであったが、それ以外の平日の来客数が特に落ち込み、普段の夕食を控える傾向が強くなっているように感じている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年8月は悪い上に、今年は選挙があったので落ち込むことはある程度予想していたが、月末になっても出足が戻らない。宴会、フリー客共にあまり良くない。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・市内の同業施設全般において宿泊が芳しくないという情報が多く、競合施設の新規開業の影響で下降気味となっているだけではなさそうである。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	・現状、景気が悪いのはガソリン価格が上がっていることが一番大きい。その上、給与や賞与が増加しないなかで、社会負担、税負担の増が大きく効いている。
	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・来客数の動きのほかに、経費面で燃料費の高騰が収支の悪化につながっている。
	悪くなっている	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き
商店街（代表者）		販売量の動き	・夏の最終バーゲンに招待客はそこそこ来店したが、通り掛かりの客を始め、一般客の来店はほとんどない。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今までより客単価が大幅に低くなってきている。
企業動向	良くなっている	-	-

関連	やや良くなっている	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・先月からテナント賃貸面積が増床した分だけ賃貸収入が増加している。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量、システムの納入高、共に増加傾向にある。ただし、短納期、単価の据置きと、厳しい状況に変わりはない。競争も激しく、収益の改善には時間が掛かる。
変わらない		食品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・夏休みに入り、工場見学者が若干、増加しているものの、販売数に変化はない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年通りの動向であるが、旧商品のデザイン入替えによる受注が増えつつある。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・主力の四輪駆動車向け部品は大きく落ち込んだものの、他業種の仕事が一般的に増加し、前年同月比で約8%増の売上を確保できている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部品加工の関係は安定した生産を行っている。しかし、単価は相変わらず厳しく、また納期の短縮要請も多々ある。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業に関しては、自動車部品関係は好調である。ただし、原油高騰の影響で原材料、特にプラスチック関係、鉄などの値上げが著しく、物によっては2割程度、値上がり、製品価格に転嫁せざるを得ないような状況になっている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏の販売商戦における宣伝広告費は期待したほど伸びず、昨年とほぼ変わらなかった。一部富裕層のバブル景気の報道はあるが、地方一般のレベルでは、全くその気配がない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・先月の豪雨災害の影響が懸念されたが、その時の出稿不足が今月に回ったのか、チラシ出稿量は106%と好調に推移している。しかし、豪雨災害の影響で、果樹の出荷量は激減しており、例年の選果場に比べ、午前中の早い時間に作業が終了してしまう日が続いているということである。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・増加していた商業、サービス業、不動産業からのスポットコマercialがここに来て減少に転じてきている。地域の祭りや商業からのイベント受注は回復しているが、タイムコマercialが減少しており、売上は横ばいであるが、利益は減少傾向にある。
やや悪くなっている		食品製造業（製造担当）	それ以外	・石油製品の価格高騰分を商品に上乗せできれば良いが、いまだにできず、本当にいよいよということまでできている。解決策を見付けなければ、本当に難しい状態である。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・各宝飾店とも売上が伸びず、特別なセールをしないと売れないということで、どの店でも仕入れの必要性がない状態である。7月に続き8月も前年割れである。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候不順のため、夏季商品、レジャー用品などの輸送依頼が前年割れをし、また、燃料高による負担もありを受けている状況である。
悪くなっている		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年比で約10%減少している。8月は7月予想からみてもやはり10%程度落ちており、悪い方向にある。賞与も前年比で10%ほど少なくなっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業削減により、我々地方都市の業者は大変影響を受けている。受注競争激化により、赤字工事でも受注してしまう物件もある。民間工事受注に力を注いでいるが、まだまだ実績が出ていない。10か月経過した段階での売上高は前年比で56.5%しか確保できていない。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・付き合いのあるホテル、宿泊施設の稼働率が前年より2～3%上昇している。夏の繁忙期は例年良いが、前年同月比でもみても上昇しており、客が戻ってきている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数の動きが活発である。派遣スタッフの求人要請が非常に多い。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人広告の申込が大変増加している。

変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・8月は住宅関連の施行による求人数が目立っている。同じく販売、購買関係、特に洋品関係の販売の求人が相変わらず出てきているが、その他の電子、自動車機械部品関係は、継続的な求人のみで、特に人の動きがないようである。全般的にはあまり変わらない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・求人募集企業は依然として増加傾向にあり、正社員募集も増えてきている。サービス産業の出店も多く、総体的に募集件数は増加している。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人の減少は続いており、歯止めが掛からない状況である。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人の伸びは少なく、求職者も減少傾向にある。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人数の動きは増加傾向が強くなっているが、派遣、請負の求人や量販店の求人が3割近くを占めており、相変わらず直接雇用を含む正社員の求人状況は厳しい。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・けん引する製造業の企業にばらつきはあるものの、堅調に推移しており、開発系、現場系共に、求人増加が目立っている。
やや悪く なっている	学校[短期大 学](就職担 当)	求人数の動き	・一時期のように集中した求人はなく、落ち着いてきている。益明けから企業の採用活動が再始動し、2次募集、3次募集を行っている企業もあるので今後の流れに期待したい。
悪く なっている	-	-	-